

骨密度測定検査について

北九州市立八幡病院

【検査の概要】

- 腰椎と大腿骨頸部の骨密度を、X線を用いて測定し、骨粗鬆症などのリスクを調べることができます。痛みを伴うことなく寝たまま検査を受けることができます。
- 当院では DEXA 法を採用しており、2種類のエネルギーの X 線を用いて骨密度をより高精度に測定することができます。

【検査の準備】

- ボタンや金属は測定結果に影響を与える可能性があります。服装によっては検査着への着替えが必要になります。

【検査時】

- 検査台に仰向けに寝ていただき、腰椎と大腿骨頸部をそれぞれ測定します（図 1, 2）。
腰椎測定の際は両腕を胸の上に乗せます。
大腿骨頸部測定の際は両足を固定します。
- 測定している間の約 1 分間は動かないで下さい。
検査時間は全体でおよそ 15 分です。



図 1 腰椎の骨密度測定

【注意点】

- 以下の場合には測定が正常に行えない可能性があります。

- ・ 腰椎及び大腿骨頸部、その周囲に体内金属がある場合。
- ・ 腰椎、大腿骨頸部の骨変形が強い場合。
- ・ 造影 CT 検査や造影 MRI 検査後、24 時間経過していない場合。
- ・ RI 検査及びバリウム検査後、7 日経過していない場合。



図 2 大腿骨頸部の骨密度測定

2020 年 8 月 20 日